



2009 Jun No.198
百万石蝶談会

翔

富山市呉羽町でツマグロヒョウモンの越冬幼虫を観察

松井泰子・青山 仁・青山 民

筆者らは、2008年7月に富山市呉羽町でツマグロヒョウモンの蛹を見つけ、同地で越冬の可能性を報告した（松井・青山、2008）。2009年は、その可能性を確認するため越冬幼虫を探していたが、4月に筆者の1人である青山の自宅でパンジーを摂食する幼虫を発見した。

2009年4月9日 富山市呉羽町 1幼 青山 民

パンジーは、前年の10月中旬に苗を買い鉢植えにしたもので、降雪期は軒下で管理し、幼虫を発見した4月には日当たりの良い塀（ラティス）につり下げていた。

ツマグロヒョウモンの成虫は12月に入ってからでも観察されているため、10月中旬以降に鉢植えのパンジーに産卵し、その後孵化した幼虫が降雪期を軒下で過ごし越冬したと思われる。



富山市呉羽町で観察した越冬幼虫（2009年4月9日青山 民撮影）

《 参考文献 》

- 松井泰子・青山 仁（2008）富山市呉羽町で7月にツマグロヒョウモンの幼虫と蛹を観察. 翔(193):1.
《まつい ひろこ 〒920-3121 金沢市大場町東871-15》
《あおやま じん 〒930-0138 富山市呉羽町3 6 3-5》
《あおやま たみ 〒930-0138 富山市呉羽町3 6 3-5》

石川県に於けるアサギマダラの北上移動調査2008

松井 正人

■調査概要

調査は、2008年5月17日から6月19日にかけて、図2に示す珠洲市から加賀市にかけての海岸で行い、鳳珠郡能登町、同郡穴水町、七尾市の海岸では行わなかった。調査対象の海岸線は長いため各地に調査の協力者を求め、身近な海岸での調査にご協力いただきてきたが、調査を重ねる毎に協力者が増え、珠洲市ではアサギマダラ調査隊に珠洲市立西部小学校の3年生4年生が加わった。調査の方法は、海岸に飛来するアサギマダラの観察とマーキングで、観察日時等を記録した。

アサギマダラの飛来は、5月17日から6月19日にかけて32箇所の海岸で1257頭が観察され、その半数以上が能登半島先端部の珠洲市で観察された。マーキングされたアサギマダラの再観察は同所海岸を含めると97例で、県外から3頭が飛来し、県内でマーキングし県外で再観察されたものが2頭あった。

■観察数

2008年の観察総数は1257頭で、2007年には観察数が減少したが2006年並の観察数に戻った。地域別に見ると、珠洲市での観察数が全体の50%以上と大きく増え、輪島市では2006年並、志賀町以南では2006年のほぼ半数に減少している。この違いには、地域に於ける調査者数が影響していると思われるが、アサギマダラを引き付けるスナビキソウが奥能登に多く加賀にはほとんど無い事、珠洲市には近づき易く調査が容易な海岸が多い事などが影響していると思われる。日本海に突き出た能登半島の地形も大きく関係していると思われ、珠洲市は能登半島の先端部に位置している。

表1. アサギマダラの観察数

	2004年	2005年	2006年	2007年	2008年
① 珠洲市	—	38	447	345	643
② 輪島市	109	87	344	114	360
③ 志賀町	134	29	243	35	137
④ 羽咋市	40	10	23	11	5
それより南	36	89	174	34	112
合計	319	253	1231	539	1257

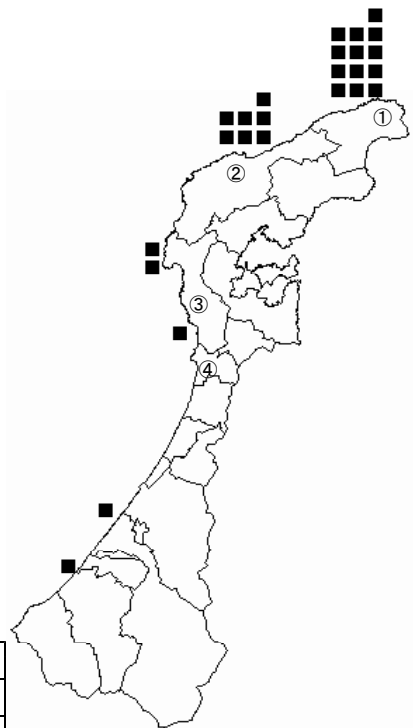


図1. アサギマダラの観察数
 ■は50頭を示す
 全観察数の51%が、珠洲市で観察されている。

■海岸別観察数

2008年に観察数が多かった上位3海岸は、観察総数と日別観察数共に、珠洲市狼煙海岸、輪島市三ツ子浜、輪島市袖ヶ浜だった。表2、表3にある2006年から2008年の上位海岸の中で輪島市袖ヶ浜と志賀町増穂浦以外は、全て能登半島先端部の北側に面した海岸で有り、能登半島先端部は北上するアサギマダラが多数観察される観察適地のように思われる。

表2. 観察総数の上位3海岸

2008年	珠洲市狼煙海岸	262頭
	輪島市三ツ子浜	165頭
	輪島市袖ヶ浜	141頭
2007年	珠洲市狼煙海岸	115頭
	輪島市袖ヶ浜	99頭
	珠洲市川浦海岸	75頭
2006年	輪島市袖ヶ浜	278頭
	珠洲市狼煙海岸	91頭
	珠洲市大崎	81頭

表3. 日別観察数の上位3海岸

2008年	珠洲市狼煙海岸	2008年6月7日	63頭
	輪島市三ツ子浜	2008年6月8日	50頭
	輪島市袖ヶ浜	2008年6月7日	46頭
2007年	珠洲市狼煙海岸	2007年6月6日	66頭
	珠洲市川浦海岸	2007年6月6日	46頭
	珠洲市高屋海岸	2007年6月6日	26頭
2006年	珠洲市狼煙海岸	2006年5月31日	73頭
	輪島市袖ヶ浜	2006年6月10日	69頭
	志賀町増穂浦	2006年5月20日	39頭

表4. 日別海岸別観察数

觀察月	觀察日	觀察計	珠洲市小泊	珠洲市三崎高波	珠洲市三崎宇治	珠洲市寺家	珠洲市狼煙	珠洲市川浦	珠洲市高屋	珠洲市小浦出	珠洲市鰐崎	珠洲市大崎	珠洲市赤神	珠洲市大谷	珠洲市片岩	珠洲市清水	珠洲市仁江	輪島市船倉島	輪島市大川浜	輪島市三ツ子浜	輪島市袖ヶ浜	輪島市門前町深見	輪島市門前町鹿磯	志賀町鹿頭	志賀町赤崎	志賀町増穂浦	志賀町大島	志賀町甘田	羽咋市一宮	金沢市普正寺	金沢市専光寺	白山市竹松海岸	能美市山口海岸	加賀市塩屋海岸		
		1257	12	3	4	88	262	101	91	22	3	4	23	1	5	8	16	4	43	165	141	1	6	45	28	11	42	11	5	3	33	26	39	11		
5	17	1																										1								
	24	9			1		3		4											1																
	25	19		1		10	2		4									1																	1	
	27	2																			2															
	28	8				3	3	2																												
	30	7												1							1											3	1	1		
	31	36																			1				11	18	4								2	
6	1	38	2			1		5	1				1			4					14				11	18		4								
	2	1																											7	3						
	3	10																											1							
	4	34				6	5	7																								3	11		2	
	5	198				14	53	26	32	13	3	4	5		5		2		2	31														5	3	
	6	35				11															19														5	
	7	263	8	2	3	13	63	17	26	2			10				1	2	2	10	46	1	3	10	7	5	16	5	3				2	5	1	
	8	232	2			21	59	34	19	4			4						2		50	10					3		2				9	8	5	
	9	77					2						2						7	25	25													9	7	
	10	97					10									3	3		12	26	27											11		5		
	11	39					13		2							1	2				13												7		1	
	12	3																			3															
	13	22																	2	16	3												1			
	14	86				5	39	5	2					1						5	2		3	12	3	2	5								2	
	15	33				4	6	3	1	3										1					12			3								
	16	4					3	1																												
	17	2					1	1																												
	19	1																																		1

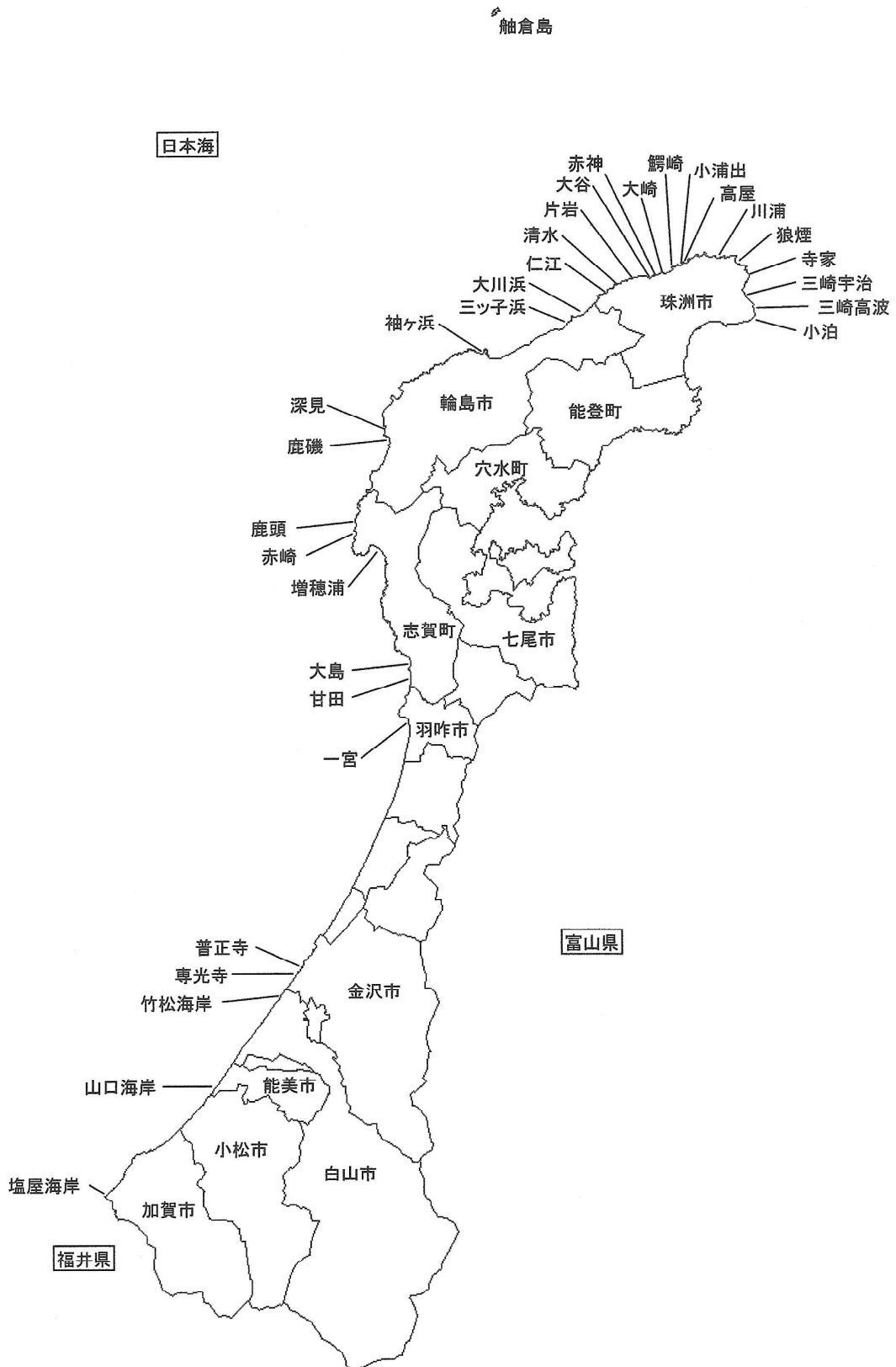


図2. アサギマダラの観察場所（2008年）

■観察時期

2008年は、5月中旬後期（5月16日～5月20日）から徐々に観察され始め、5月下旬後期（5月25日～5月31日）から急激に観察数が増加し、6月上旬前期（6月1日～6月5日）が観察ピークとなり、その後は急激に観察数が減少し、6月中旬前期（6月11日～6月15日）で観察は終了した。これまでは、5月下旬後期から6月中旬後期（5月26日～6月20日）の間に、観察総数の90%以上が観察されていたが、2008年は、5月下旬後期から6月上旬後期（5月26日～6月10日）と、例年より10日ほど短い期間に観察総数の93%が観察された。

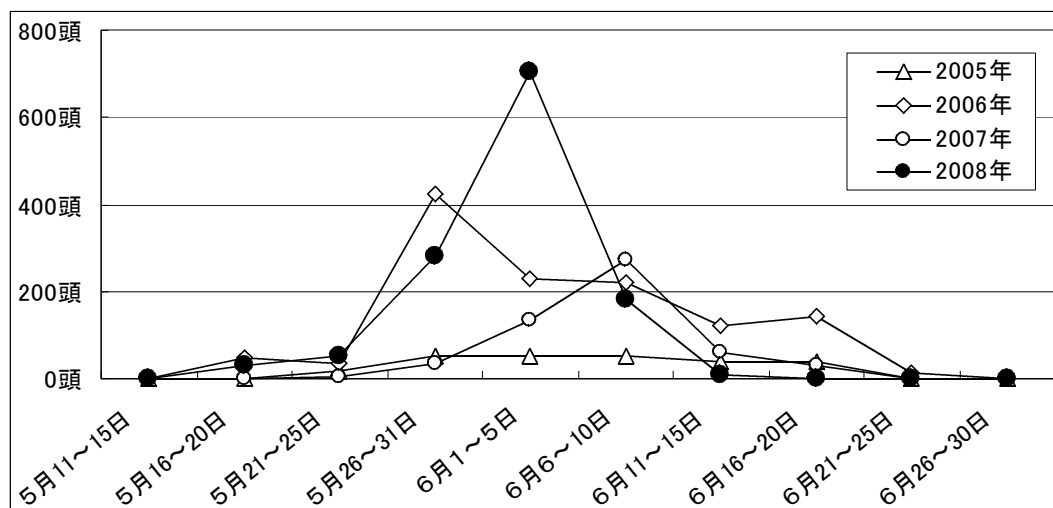


図3. 時期別観察数

■観察時間

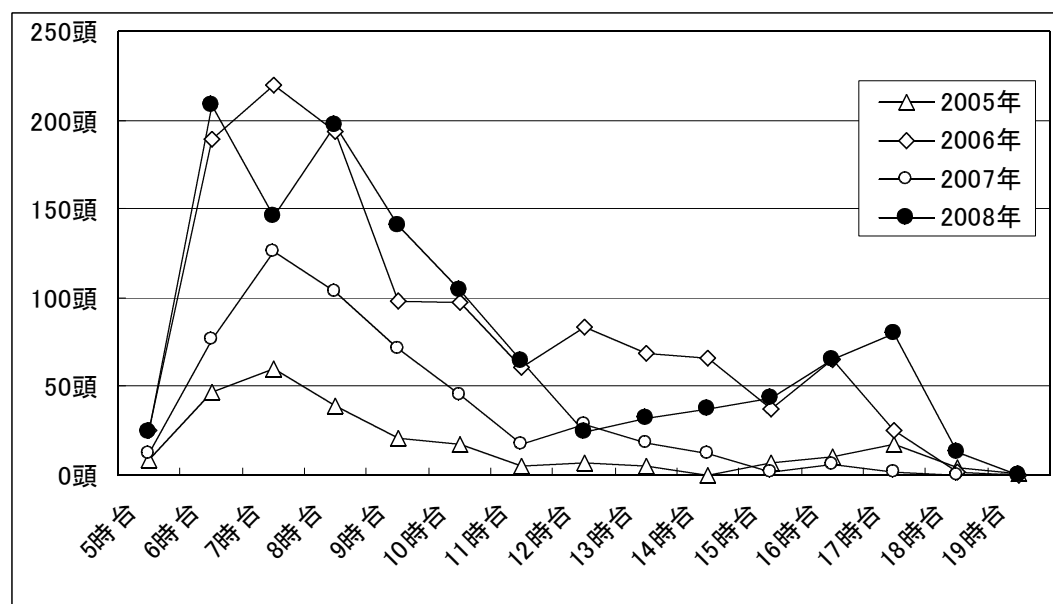


図4. 時間帯別観察数

2008年の調査では、1178頭の観察時間が記録され、最も早い観察は5時16分、最も遅い観察は18時30分だった。観察時間の傾向は、例年通り6時台から8時台にかけて大きなピークが見られ、その後はこれまで減り続けていたが、2008年は12時台から17時台までは緩やかに増え続け、17時台に小さなピークが現れた。7時台に観察数が減少しているのは、6時台を主力にする観察者と8時台を主力にする観察者が多いためと思われる。

観察が多い時間帯は、これまで同様6時台から10時台で、全体の68%が観察されている。

表5. 時間帯別観察数

時間帯	5時	6時	7時	8時	9時	10時	11時	12時	13時	14時	15時	16時	17時	18時	合計
観察数	24	208	146	197	141	104	64	24	32	37	43	65	80	13	1178頭
割合	2%	18%	12%	17%	12%	9%	5%	2%	3%	3%	4%	5%	7%	1%	100%

2008年の調査では、660頭について観察時の気温と天候が記録された。21度が最も観察された気温で、15度から24度の範囲で観察され、それ以外では観察されていない。太陽光を遮るものが無い海岸の気温は、晴天時では日の出と共に上昇し、気温に敏感なアサギマダラは耐えられる温度までは海岸に滞在するが、それを越えると飛び去り近隣の日陰に避難すると考えられる。曇天時や降雨時は、気温がそれほど上昇しないために、晴天時には観察できない時間帯であっても観察されている。

表6. 時間帯別気温別観察数

気温	5時	6時	7時	8時	9時	10時	11時	12時	13時	14時	15時	16時	17時	18時	合計
15度		4													4頭
16度	1														1頭
17度	10		3	1											14頭
18度	1	18	18	1	2		4								44頭
19度	10	22	4	2				1					11		50頭
20度		13	18	29	23		12	3			2	21			121頭
21度		49	46	68	27	21	24		7	29	31	8			310頭
22度					7	14	1	16	16	1	2				57頭
23度				2	15	23						16			56頭
24度												3			3頭
合計	22	106	89	103	74	58	41	20	23	30	35	48	11		660頭

表7. 時間帯別天候別観察数

天気	5時	6時	7時	8時	9時	10時	11時	12時	13時	14時	15時	16時	17時	18時	合計
雨				18	19	19	3			3	12	3			77頭
霧		4													4頭
曇	11	40	42	31	27	15	21	11	23	14	21	25	11		292頭
晴	11	62	47	54	28	24	17	9		13	2	20			287頭
合計	22	106	89	103	74	58	41	20	23	30	35	48	11		660頭

■マーキングと再捕獲

2008年は、984頭にマーキングが行われ、捕獲時に既にマークが付いていた再捕獲は95例あり、同一場所で異なる日に再捕獲されたものが65例、アサギマダラの移動がわかる再捕獲は30例だった。100kmを越す長距離移動は、大分県姫島から飛来したものが、志賀町大島で1♂、輪島市三ツ子浜で2♂が観察された。姫島からの移動は、これまでも観察されており、2005年には珠洲市高屋で1♂、2006年には輪島市袖ヶ浜で3♂が観察されている。

また、これまで5～6月に実施している海岸でのマーキングでは、石川県内でマーキングしたものが他県で再捕獲されることは無かったが、今回初めて2♂が再捕獲された。1♂は大分県姫島で10月に再捕獲されたもので、放蝶後は北上移動したものが南下移動に転じたのち再捕獲されたものと思われる。残る1♂は、大津市びわ湖バレイ（標高970m）で7月31日に再捕獲されたもので、位置的には南下移動しているが、低地から高地への移動と思われる。

表8. 2008年のアサギマダラの移動（移動距離10km以上）

No	性	放蝶日	放蝶場所	放蝶者	再捕獲日	捕獲場所	再捕獲者	距離	日数
①	♂	5月24日	輪島市三ツ子浜	松井正人	→ 5月25日	珠洲市寺家	松井正人	30km	1日
②	♂	5月23日	大分県姫島	栗田昌裕	→ 6月 1日	志賀町大島	宇野弘子	580km	9日
③	♂	5月30日	珠洲市大谷	丹保徹也	→ 6月 5日	珠洲市狼煙	松井正人	14km	6日
④	♂	6月 4日	珠洲市寺家	赤石大輔	→ 6月 7日	輪島市袖ヶ浜	日吉南賀子	40km	3日
⑤	♂	6月 5日	珠洲市赤神	松井正人	→ 6月 7日	珠洲市川浦	松井正人	10km	2日
⑥	♂	5月25日	大分県姫島	栗田昌裕	→ 6月 8日	輪島市三ツ子浜	日吉芳朗	630km	14日
⑦	♂	5月25日	大分県姫島	栗田麻未 栗田昌裕	→ 6月 8日	輪島市三ツ子浜	日吉芳朗 松井正人	630km	14日
⑧	♂	6月 7日	輪島市袖ヶ浜	日吉芳朗	→ 6月 8日	珠洲市狼煙	松井正人	40km	1日
⑨	♂	6月 7日	珠洲市川浦	表野杏佳	→ 6月 8日	輪島市三ツ子浜	日吉南賀子	20km	1日
⑩	♂	6月 7日	珠洲市川浦	松井正人	→ 6月 9日	輪島市三ツ子浜	日吉芳朗	20km	2日
⑪	♂	6月 7日	珠洲市寺家	松井正人	→ 6月 9日	珠洲市仁江	角花寿雄	20km	2日
⑫	♂	6月 6日	輪島市袖ヶ浜	日吉芳朗	→ 6月14日	珠洲市川浦	砂山美里子 刀禰はるか	40km	8日
⑬	♂	6月 8日	珠洲市狼煙	砂山美里子	→ 6月14日	輪島市袖ヶ浜	中西元男	40km	6日
⑭	♂	6月10日	輪島市袖ヶ浜	日吉南賀子	→ 6月14日	珠洲市狼煙	平松夕衣	40km	4日
⑮	♂	6月10日	輪島市袖ヶ浜	日吉芳朗	→ 6月14日	珠洲市狼煙	平松夕衣	40km	4日
⑯	♂	6月14日	加賀市塩屋	南出 洋	→ 7月31日	びわ湖バレイ	林 久明	170km	47日
⑰	♂	6月13日	輪島市三ツ子浜	日吉芳朗	→10月14日	大分県姫島	岸本 静	630km	123日

※びわ湖バレイ＝滋賀県大津市

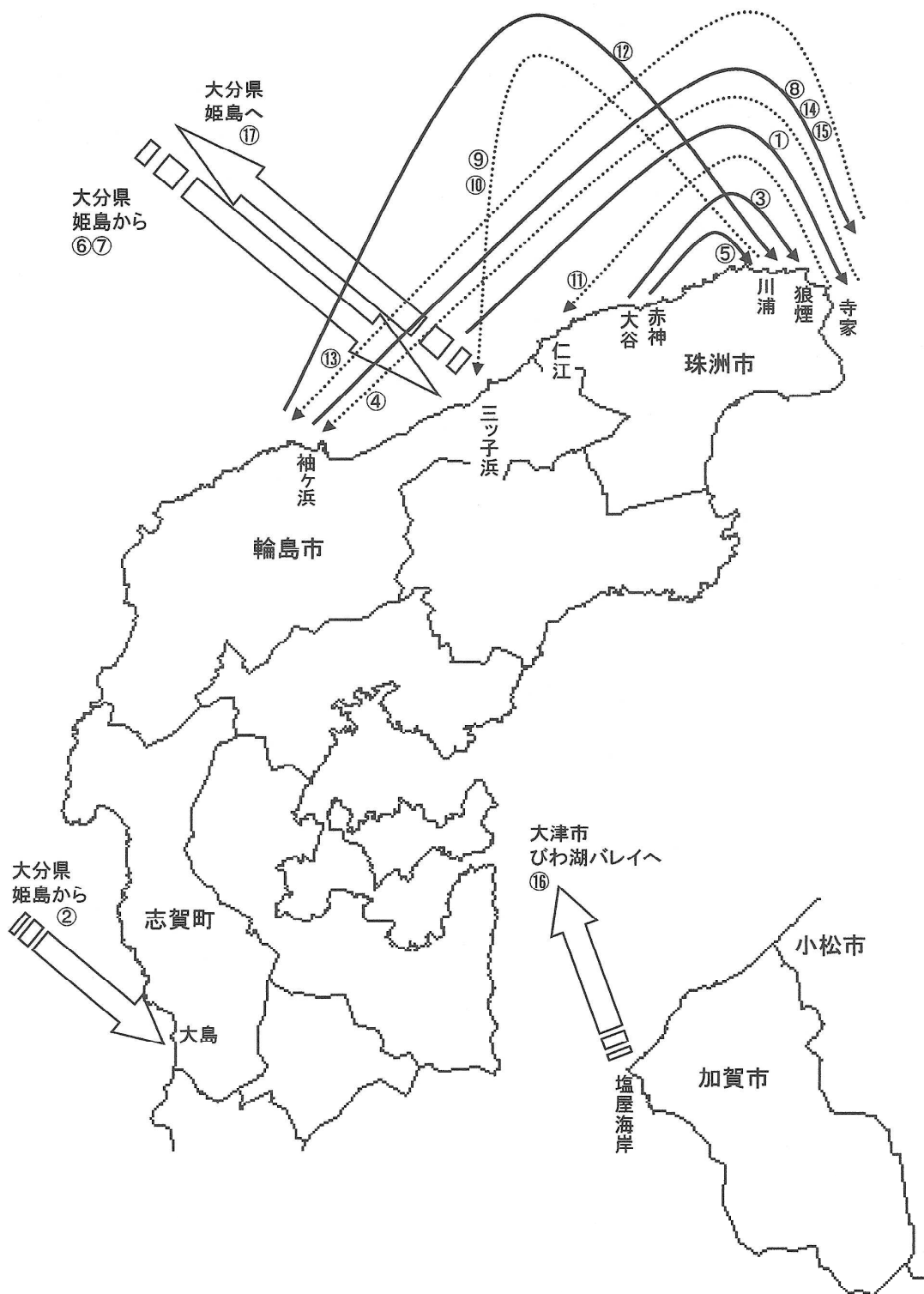


図 5. 移動が観察された放蝶地と再捕獲地 (2008年)

■♀の観察

海岸で稀に観察されているアサギマダラの♀が、2008年は6頭（観察数の0.5%）観察された。♀の観察は、2005年1頭（観察数の0.4%）、2006年3頭（観察数の0.2%）、2007年6頭（観察数の1.1%）と非常に少ない。

表9. 海岸で観察されたアサギマダラの♀

観察日時	観察場所	交尾別	観察者	観察内容
2008年5月25日11時台	珠洲市三崎高波	既交尾	松井正人	スナビキソウ吸蜜
2008年5月25日11時台	加賀市塩屋海岸	不明	南出 洋	スナビキソウ枯根に口吻を伸ばす
2008年6月 1日 9時台	輪島市袖ヶ浜	不明	日吉芳朗	スナビキソウ吸蜜
2008年6月 3日17時台	能美市山口海岸	不明	林 宏初	松林で観察
2008年6月 8日 8時台	輪島市三ツ子浜	不明	日吉南賀子	スナビキソウ吸蜜
2008年6月 9日 8時台	輪島市三ツ子浜	不明	日吉芳朗	スナビキソウ吸蜜

海岸のスナビキソウ周辺で観察されるアサギマダラの♀は非常に少ないが、この時期から海岸の背後林では卵が観察され始め、♀は♂と同じ移動ルートで同数程度が飛来していると考えられる。

表10. 背後林で観察されたアサギマダラの卵

観察日	観 察 場 所	観 察 数	観察者
2008年6月14日	輪島市百文山（標高260m）	6卵（オオカモメヅル）	松井正人
2008年6月15日	珠洲市大谷（標高140m）	17卵（オオカモメヅル）	松井正人
2008年6月15日	珠洲市山伏山（標高80m）	3卵（オオカモメヅル）	松井正人

■謝 辞

今回の調査においてもこれまで同様、輪島市の日吉芳朗・日吉南賀子ご夫妻、能美市の林 宏初氏には、多くの情報をいただいた。珠洲市の赤石大輔、砂山美里子の両氏には、珠洲市での説明会から観察記録のとりまとめまで大変お世話になった。また、アサギマダラ調査隊(珠洲市)、西部小学校の3年生4年生(珠洲市)、上野登起男(珠洲市)、宇野弘子(愛知県岡崎市)、塩島保二(金沢市)、竹谷宏二(白山市)、橘 英子(宝達志水町)、床坊 紘(珠洲市)、富沢 章(小松市)、中西元男(三重県松阪市)、中村明男(白山市)、平松新一(白山市)、平松夕衣(白山市)、細沼 宏(内灘町)、堀 孝治(宝達志水町)、堀 千恵子(宝達志水町)、桝蔵正敏(白山市)、南出 洋(加賀市)、宮前みふ子(珠洲市)、山前美智子(小松市)の方々に、調査にご協力いただいた。お世話になった方々に、心より謝意を表したい。

■参考文献

- 松井正人（2006）石川県に於けるアサギマダラの北上移動調査2005. 翔(179):1-6.
 松井正人（2007）石川県に於けるアサギマダラの北上移動調査2006. 翔(186):4-10.
 松井正人（2008）石川県に於けるアサギマダラの北上移動調査2007. 翔(192):1-7.

《まつい まさと 〒920-3121 金沢市大場町東871-15》

2008年の石川県輪島市におけるアサギマダラのマーキング調査と観察記録

日吉芳朗・日吉南賀子

2008年の輪島市とその周辺におけるアサギマダラの飛来は、2度のピークがあったようにみえる。それは6月8日頃と8月3日頃であるが、前者のピークの方がかなり大きかったようである。そして、本年はこれらの日の前後においても少数ながら飛来が観察された。なお、観察される主たる時間帯は7～9時であり、日中はほとんど姿をみせず、夕方その数は少なかった。6月は袖ヶ浜、三ッ子浜、大川浜のような砂浜であり、そこに咲くスナビキソウに、8月は鉢伏山（543m）や高洲山（567m）のような山地で、そこに咲くヨツバヒヨドリに吸蜜にきていた。

6月の個体は破損したものが多く、8月の個体はおおむね新鮮であった。これらのアサギマダラの中で、6月8日と9日に三ッ子浜で多数の♂に混じり1♀が吸蜜していた。いずれも腹部は蜜で飽満状態であった。また山地での♀は、通常、既交尾と未交尾の個体が入り混じっているが、飛来が終わりに近い9月14、19日にマークした5♀はいずれも未交尾個体であった。

本年のマーク総数は314頭と例年に比して少なかったものの（表－1、表－2）、いくつかの再捕獲があった。

■能登半島内での再捕獲

♂	2008年6月6日	輪島市光浦町袖ヶ浜	日吉芳朗	放蝶
	→2008年6月14日	珠洲市川浦	砂山美里子・刀禰はるか	再捕獲
♂	2008年6月7日	輪島市光浦町袖ヶ浜	日吉芳朗	放蝶
	→2008年6月8日	珠洲市狼煙	松井正人	再捕獲
♂	2008年6月4日	珠洲市三崎町寺家	赤石大輔	放蝶
	→2008年6月7日	輪島市光浦町袖ヶ浜	日吉南賀子	再捕獲
♂	2008年6月7日	珠洲市川浦	表野杏佳	放蝶
	→2008年6月8日	輪島市渋田町三ッ子浜	日吉南賀子	再捕獲
♂	2008年6月7日	珠洲市川浦	松井正人	放蝶
	→2008年6月9日	輪島市渋田町三ッ子浜	日吉芳朗	再捕獲
♂	2008年6月10日	輪島市光浦町袖ヶ浜	日吉南賀子	放蝶
	→2008年6月14日	珠洲市狼煙	平松夕衣	再捕獲
♂	2008年6月10日	輪島市光浦町袖ヶ浜	日吉芳朗	放蝶
	→2008年6月14日	珠洲市狼煙	平松夕衣	再捕獲

■大分県姫島からの飛来

- ♂ 2008年5月25日 大分県東国頭郡姫島 栗田麻未・栗田昌裕 放蝶
→2008年6月8日 輪島市渋田町三ツ子浜 日吉芳朗 再捕獲
- ♂ 2008年5月25日 大分県東国頭郡姫島 栗田昌裕 放蝶
→2008年6月8日 輪島市渋田町三ツ子浜 日吉芳朗 再捕獲

姫島と三ツ子浜の直線距離は約640kmあり、この距離を14日間で移動したことになる。

■大分県姫島での再捕獲

- ♂ 2008年6月13日 輪島市渋田町三ツ子浜 日吉芳朗 放蝶
→2008年10月14日 大分県東国頭郡姫島 岸本 静 再捕獲

移動日数は123日とかなり長期間にわたっていることから、この個体はマーク時は北上中であり、夏期をたとえば東北地方などの清涼の地ですごし、その後、南下している途中に再捕獲されたのではないかと推定される。



図ー1. 輪島市渋田町三ツ子浜で再捕獲した姫島から飛来したアサギマダラ(松井正人 撮影)

また、7月28日には、市街地沖50kmに位置する舳倉島の港で、アサギマダラ1♀（既交尾）を鳳至千蔵氏が採集されて筆者に届けられた。移動時期からずれているようにみえる。

表－1. 輪島市で観察したアサギマダラ1

月日	時刻	計（内訳）	袖ヶ浜	三ツ子浜	大川浜	温度	天気
5/27	8:46～ 8:49	2(2♂)	2♂			20	晴
5/31	16:14	1(1♂)	1♂			20	晴
6/1	8:52～ 9:25	5(5♂)	5♂			23	晴
6/1	15:53～15:57	2(2♂)	2♂			22	晴
6/6	16:18～16:53	16(16♂)	16♂			23	晴
6/7	6:17～ 9:06	44(44♂)	44♂			21	曇
6/7	15:20～15:23	2(2♂)	2♂			20	曇
6/8	5:16～ 5:56	10(10♂)	10♂			17	晴
6/8	6:32～ 8:29	41(40♂1♀)		40♂1♀		21	晴
6/9	5:55	1(1♂)		1♂		16	晴
6/9	6:11～ 7:28	22(22♂)			22♂	18	晴
6/9	7:43～ 8:58	24(23♂1♀)		23♂1♀		20	晴
6/9	9:13～ 9:27	3(3♂)			3♂	21	晴
6/10	6:15～ 6:30	4(4♂)			4♂	15	霧
6/10	6:53～ 7:58	8(8♂)		8♂		18	晴
6/10	8:24～ 8:37	7(7♂)			7♂	21	晴
6/10	8:58～ 9:13	3(3♂)		3♂		21	晴
6/10	6:05～ 6:57	21(21♂)	21♂			21	晴
6/10	16:02～16:07	3(3♂)	3♂			24	晴
6/11	5:41	1(1♂)	1♂			18	曇
6/12	10:20	1(1♂)	1♂			23	晴
6/13	7:26～ 7:29	2(2♂)			2♂	20	曇
6/13	7:51～ 8:55	13(13♂)		13♂		21	曇
6/14	16:10	1(1♂)	1♂			21	曇
6/15	8:12	1(1♂)		1♂		29	曇
計		238(236♂2♀)	109♂	89♂2♀	38♂		

表－2. 輪島市で観察したアサギマダラ2

月日	時刻	計（内訳）	鉢伏山	高洲山	温度	天気
7/23	9:03～ 9:44	5(5♂)	5♂		29	曇
7/26	10:02～10:57	8(3♂5♀)	3♂5♀		19	霧
7/27	8:03～ 8:05	2(1♂1♀)	1♂1♀		27	霧
8/3	8:05～10:21	20(13♂7♀)	13♂7♀		27	曇
8/9	8:12～ 9:19	10(6♂4♀)	6♂4♀		24	晴
8/11	8:11～ 8:12	2(1♂1♀)	1♂1♀		24	晴
8/13	8:06～ 9:13	11(8♂3♀)	8♂3♀		27	晴
8/22	10:35	1(1♂)	1♂		23	曇
9/6	8:32～ 8:37	2(1♂1♀)		1♂1♀	26	曇
9/8	9:30～ 9:52	4(3♂1♀)	3♂1♀		23	晴
9/9	10:37	1(1♂)	1♂		23	晴
9/10	9:24～ 9:32	2(1♂1♀)	1♂1♀		22	晴
9/14	8:53～ 9:32	5(2♂3♀)		2♂3♀	23	曇
9/19	9:20～ 9:53	3(1♂2♀)		1♂2♀	26	曇
計		76(47♂29♀)	43♂23♀	4♂6♀		

会員の動き・しゃばの動き

■金沢と富山でツマグロの越冬幼虫発見

金沢市と富山市でツマグロヒョウモンの越冬幼虫が見つかった。どちらも民家周辺で、厳冬期はより暖かな軒下などで冬を越していたと思われる。

■シラキトビナナフシが孵化

4月11日からシラキの孵化が始まった。今年の孵化率は60%前後と、昨年の6%を大きく上回ったが、今年もほとんどが後肢に孵化殻を引きずっていた。

■ギフチョウ観察に出かけたが

4月19日、今年のギフは早いと赤谷に出かけた指田氏だったが、ギフは目撃できずに採集者ばかり。生田氏や嵯峨井氏を観察し、ウスバサイシンが豊富な一里野に転戦すると、大砲のようなカメラを構えた矢田氏が陣取っていた。

■志賀町のウラナミアカシジミ

能登では宝達山と志賀町でしか観察されていないウラナミアカ。昨年初めて見つかった志賀町の発生数は多いのか、果たして幼虫は見つかるのかと調べてみると、コナラから簡単に幼虫が見つかった。数が多いような感じで、今まで見つからなかったのがなんとも不思議。

■ハードディスクがクラッシュ

パソコンがフリーズした。データはすべてUSBメモリーの中と高をくくっていたが、パソコンが戻って気がついた。すべて初期設定に戻っている。各種プログラムのインストールやカスタマイズ、辞書も真っ白けで、頭も白くなった。

■ギフチョウのマーキング調査

松本和馬氏、新潟は松之山に毎週通ってギフチョウにマーキングしている。金沢大学の頃は、金沢でギフにマーキングしていたが、今は何を調べているのだろうか。

■ニホントビナナフシが孵化

シラキの孵化が始まってから1ヶ月以上もたった5月13日、ようやく孵化が始まったニホントビだったが、後肢にはやはり孵化殻をぶら下げていた。親の成長も遅く、産卵が始まったのが10月中旬で、12月に入っても産卵は続いていた。

■旧県庁前のトチノキの運命は

スギタニのエサを探している細沼氏、旧県庁前のトチノキを聞きつけ高枝切バサミを持って出かけると、花が咲いている。しめしめとハサミを取り出そうとしたが、車と人通りが多く、高枝切バサミで採るような状況ではなかった。それにしても、トチの花穂は近くで見ると貫禄があった。

■アサギマダラが海岸に飛来

5月16日から海岸で観察され出したアサギマダラ。飛来数がどんどん増えているとのメールに、気が気で無い松井氏だったが、ついには半休を取って海岸へ。結果は3頭と少なかったがニコニコ顔だった。

■5月23日珠洲市でアサギマダラ説明会

アサギマダラにのめり込んだ松井氏、里山里海自然学校と大谷小学校の支援を受け、大谷公民館で説明会を開催。珠洲は、海岸に飛来するアサギマダラが石川県では最も多く、近くの海岸では優雅に飛ぶ姿が

観察できると誘い、終了後には、20本ほどのネットが自然学校から貸し出されるほどの盛況ぶりだった。

■アカエゾゼミの声を聞き分ける

エゾゼミ3種の声は似ていて、声だけでは種の判別が難しい。ところが、ICレコーダーで録音し解析ソフトにかけると、誰でも3種が区別できる。森林総研の大谷英児氏が開発した同定方法で、京都府ではアカエゾの新産地が見つかった。

■ 例会の記録 ■

4月9日（木）浅地メッキ2階にて、午後8時から開催。

今回は、竹谷氏が昆虫館で飼育を担当したヤエヤマツダナナフシのお話。種のような奇妙な形をした卵をぽんぽん生むが、ほとんど孵化しない。卵期は不明で長いのもあれば短いものもある。海外には、ナナフシの孵卵器が存在するらしい。

その他の話題は、犀川のヒサマツは寄生がいっぱい、今年のギフは一斉に発生、灯火に集まる嘆き姫、コルリはトチの新芽が

一番、下吉野のアオカミキリとホシミスジ、トキ舞う里にはタガメが、などなど。

参加は、竹谷、細沼、浅地、松井、井村、大宮、勝海、浅野、山岸、長田の10人。

■ 例会の記録 ■

5月7日（木）浅地メッキ2階にて、午後8時から開催。

アサギマダラの海岸観察について松井氏が紹介。時期は、5月25日～6月10日がベスト。時間は、晴天なら6時～10時で曇天なら1日中。気温は、18度から23度で21度がベスト。場所は、珠洲の外浦が一番。

その他の話題は、志賀町にウラナミアカがいっぱい、金沢と富山で見つかったツマグロ越冬幼虫、フジの飼育が終わり今はウラキン、今年は少ないハルゼミの羽化殻、エノキでトビナナを採集、海外で虫のペットと言えはナナフシが相場、エトロフハナは流木に産卵、などなど。

参加は、浅地、竹谷、浅野、松井、大宮、細沼、井村、勝海、長田の9人。

■ ■ 表紙デザイン：小幡英典 ■ ■

目 次

松井泰子・青山 仁・青山 民：富山市呉羽町でツマグロヒョウモンの越冬幼虫を観察	1
松井正人：石川県に於けるアサギマダラの北上移動調査2008	2
日吉芳朗・日吉南賀子：2008年の石川県輪島市におけるアサギマダラのマーキング調査と観察記録	10
編集部：会員の動き・しゃばの動き	13

翔

198号

Tobu 2009年6月10日発行

百万石蝶談会

金沢市大場町東871-15 松井方

<http://homepage3.nifty.com/100man/>

☎920-3121 ☎076-258-2727

郵便振替 00750-8-562

印刷 小西紙店印刷所

撮影/小幡 英典(表紙,a,b)
松井 正人(c)



(a)



(b)



(c)

